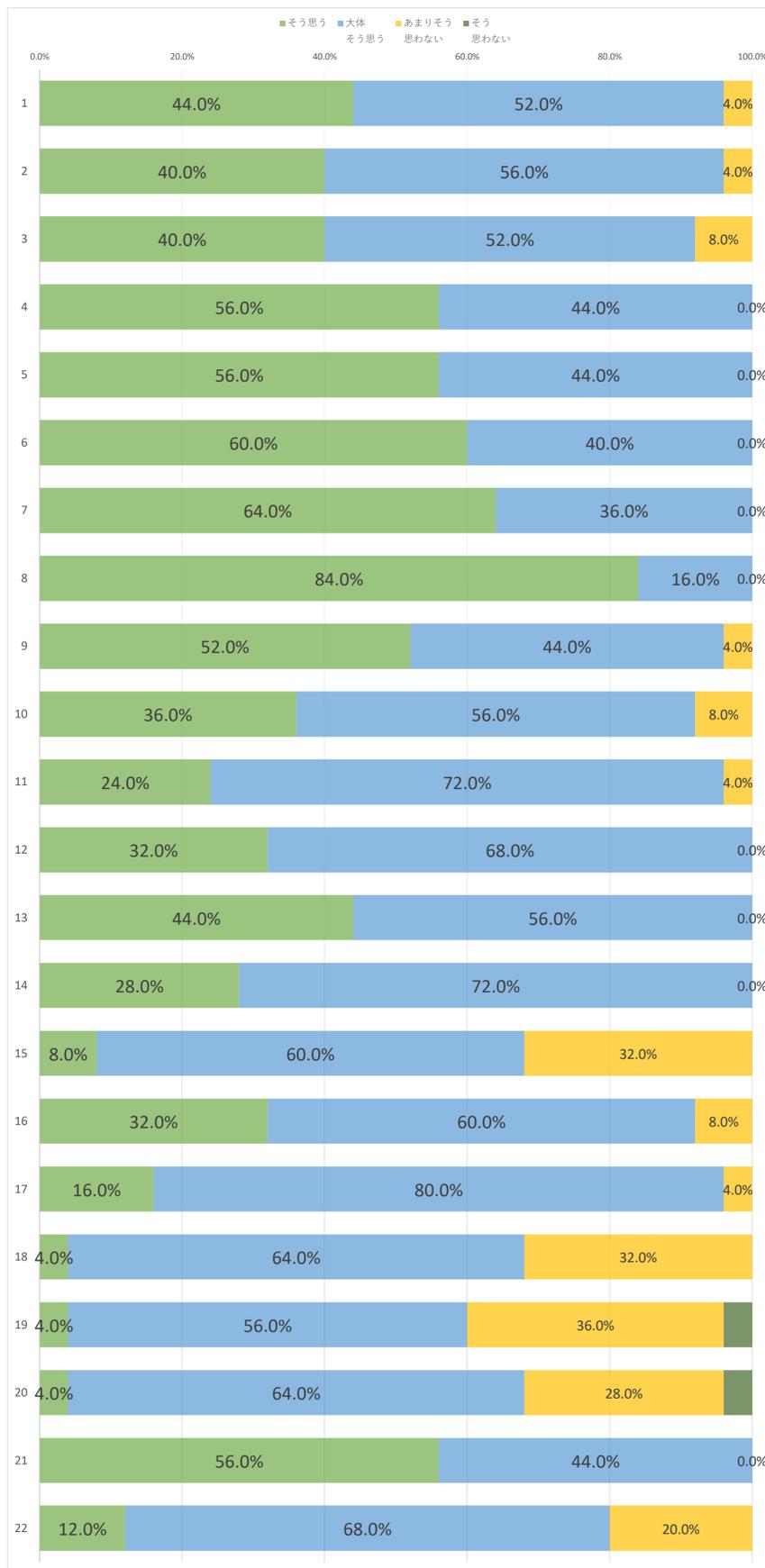


令和4年度 「よりよい学校づくりアンケート」学校評価アンケート（教職員）

	回答者 25			
	そう思う	大体 そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1 学校は教育目標や方針、活動をわかりやすく伝えている。	44.0%	52.0%	4.0%	0.0%
2 学校は様々な行事や体験を通じて、児童の「生きる力」を伸ばそうと努力している	40.0%	56.0%	4.0%	0.0%
3 学校は、施設・設備の安全管理や校舎内外の美化等、環境の整備に努めている。	40.0%	52.0%	8.0%	0.0%
4 学校は、保護者や地域の期待に応える教育活動を行おうと努めている。	56.0%	44.0%	0.0%	0.0%
5 学校は、いじめのない学校づくりに努めている。	56.0%	44.0%	0.0%	0.0%
6 学校は、保護者や地域の方々に学習や行事を参観する場を設けている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
7 学校は、学校だより等で家庭や地域へ、情報を積極的に提供している。	64.0%	36.0%	0.0%	0.0%
8 学校は、栄養のバランスや食の安全に配慮して、給食を提供するなど、健康の保持増進を図っている。	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%
9 学校は、読書活動を充実しようと努めている。	52.0%	44.0%	4.0%	0.0%
10 教職員は、ICTを活用して、授業を行っている。	36.0%	56.0%	8.0%	0.0%
11 教職員は、主体的・対話的で深い学びを意識して、授業改善に努めている。	24.0%	72.0%	4.0%	0.0%
12 教職員は、子供をよく理解し、相談・支援・指導を適切に行っている。	32.0%	68.0%	0.0%	0.0%
13 教員は、熱心に授業に取り組み、適切に評価している。	44.0%	56.0%	0.0%	0.0%
14 子供は、学校に楽しく通っている。	28.0%	72.0%	0.0%	0.0%
15 子供は、学習内容をよく理解している。	8.0%	60.0%	32.0%	0.0%
16 子供は、学校行事や学習活動に積極的に参加している。	32.0%	60.0%	8.0%	0.0%
17 子供は、思いやりの心をもって人に接している。	16.0%	80.0%	4.0%	0.0%
18 子供は、公共の場でのマナーが守れている。	4.0%	64.0%	32.0%	0.0%
19 子供は、挨拶・時間を守ること・正しい言葉遣いができている。	4.0%	56.0%	36.0%	4.0%
20 子供は、自分から宿題や家庭学習を行っている。	4.0%	64.0%	28.0%	4.0%
21 学校は、感染症防止対策に努めている。	56.0%	44.0%	0.0%	0.0%
22 湖北中学校区では、小中一貫教育の充実に努めている。	12.0%	68.0%	20.0%	0.0%



<アンケートの結果から>

1の質問では、ほとんどの職員が、学校の教育目標や活動を伝えることができていると感じている。
 2では、児童の生きる力の育成については、肯定的な意見が多いことがわかる。
 3の学校の環境整備については、おおむね十分であると感じている職員が多い。
 4では、保護者の期待に応えられるよう努力している職員が多いことが分かる。
 5では、いじめのない学校づくりについては、十分努力していると感じている職員が多い。
 6の保護者の学校行事への参加機会については、十分とは感じているが、大体そう思うの回答の割合が多い。
 7の情報発信についての消極的な回答は全くなかった。
 8の食に関する内容についても7と同様
 9の読書活動については、消極的な回答が多いことから、十分でないと感じている職員がいる。
 10の丁寧な対応については、意識して取り組んでいる。
 11の生徒指導・教育相談に関しても、意欲的に取り組んでいる。
 12の教材研究や指導力向上に意欲的に取り組んでいる。
 13の児童が楽しく登校しているとほとんどの職員が感じている。
 14の学習内容の理解については、おおむね理解できていると考えているが、理解が十分でないと感じている職員がいる。
 15の質問では、ほとんどの職員が児童が積極的に学習に参加していると感じている。
 16の思いやりのある子については、ほとんどの児童はそうであるが、一部の児童には、そうでないと感じている職員がいる。
 17の公共のマナーについては、おおむね守れていると感じているが、守れていないという消極的な意見が他の回答と比べて多い。
 18の時間を守ることに関しては、17同様、おおむねできていると感じているが、消極的な回答の割合が全回答の中で一番多い。
 19の家庭学習についても18と同様
 20の感染対策については、意欲的に取り組んでいるが、十分でないと感じている職員がいる。

<成果と課題>

本校職員が良いと評価している内容として次のことがあげられる。まず、学校の情報提供ができていているという点である。毎月のたよりや日々の連絡等は、毎日の変化や見通しのある活動によって、保護者に提供されている。児童の向こうにいる保護者を意識して学校活動に取り組んでいる表れだと考える。次に学校給食についてである。学校給食は、栄養士の努力もあり、職員からも人気がある。現状、アレルギーを含め、無理やり食べさせることはしないが、苦手なものは克服できるよう児童の様子や保護者との連絡をとりながら、食に関する指導を行っている。
 課題としては、保護者の回答との比較と合わせて考えていく。まず、5のいじめのない学校づくりに関しては、「そう思う」という回答が保護者と職員では、倍近い差がある。いじめに関しては、事実確認が重要だが、児童の受け取り方や状況把握が難しい場合の十分な対応ができていない可能性がある。教育相談の充実や保護者への密な連絡が課題である。11、12に関しても同様で、保護者との信頼関係の構築の必要性を感じる。(97.4%の児童は、いじめはしていないと回答。)次に、9読書活動の充実である。今年度は、図書室の利用に制限があり、十分に活用できなかった。バーコード化など環境は整っているので、次年度以降、積極的に活用していく。最後に、18、19の生活指導についてである。挨拶の励行、時間厳守、正しい言葉遣いに関しては、児童にやらせるだけでなく、職員自身も気を付けなければならない。児童への指導と合わせて、職員自身も、相互に注意しあいながら、学校全体で取り組めるようにしていく。